

分野：自然への愛着

## (科学部の部活でハンノキ調査)

環境アドバイザー

荒木三郎

対象

上尾市立太平中学校科学部（15人）

所要時間



1時間30分

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年12月18日

## 概要

- ・2年間、種から育てた幼木を科学部の部活として、三つ又沼ビオトープで移植場所の草刈りを行い、移植します。
- ・ハンノキの種の採取、生育状況の調査観察、樹高、周囲長測定、記録する。
- ・周辺部でハンノキを食草とするミドリシジミの卵のカウントを行い観察する。

プログラムの

ねらい

- ・2年間、学校で種から苦労して育てたハンノキの幼木を三つ又沼ビオトープに数本移植します、発芽率の低い湿地の植物で、夏休みの管理が大変なこと、科学部の活動で実体験して頂いています。
- ・埼玉県のコウ、ミドリシジミの食草を大切に育てる活動を継続的に行う。

## プログラムの内容

## 1 オリエンテーション（10分）

- ・今日の作業の流れ、注意事項
- ・自己紹介

## 2 移植場所の草刈り、移植穴を掘り移植（20分）

## 3 沼周辺で元気に育っている種を見極めて種を採取する（20分）

## 4 今まで移植した、ハンノキの樹高、周囲長の測定（30分）

## 5 ミドリシジミ卵調査（20分）

## 6 反省・質問タイム（10分）



## 受講者の反応

- ・夏の暑さでハンノキを枯らしていた、発芽率の低い植物なので、朝晩に水やりの必要性を理解していた、2年生は納得していたが1年生はポカンとしていました。
- ・1年生は初めての校外の部活でした、スコップを使っての作業やハンノキの生育調査、ミドリシジミの卵調査、初めての体験で楽しそうでした。
- ・ハンノキ6本移植しました、早く元気になあれ、春が楽しみです。

# ハンノキ樹高・ミドリシジミの卵調査・種採取と観察

